



# 碧南ロータリークラブ週報

第3024回例会 令和4年8月10日(水)

- 会長 長田 和徳
- 幹事 清澤 聡之
- 会場監督(SAA) 縦山 朋久

2022-2023 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)



- 会報委員 鈴木 洋・長田一希・杉浦保子

## ●本日のお弁当

大正館

## ●本日のお客様

地区会員増強委員会 委員長 石井弘子様 (名古屋錦RC)  
 〃 副委員長 竹内淑江様 (名古屋城北RC)  
 地区大会実行副委員長/クラブ幹事 堀田康茂様 (常滑RC)  
 地区大会実行委員 角野濱照様 (常滑RC)

## 会 長 挨拶

皆さん、こんにちは。

連日、猛暑が続いておりますけれども、体調は皆さんどうでしょうか？コロナも猛威を振るっておりますし、14日間以上の猛暑ということで、くれぐれも水分補給を忘れずに体調管理をしていただいて、お盆を迎えられたらと思いますので、よろしくお願い致します。

今週末からお盆になりますので、来週の例会は休会になります。

お盆ということで、先輩諸氏にご存知だと思いますが、若い会員の方々は「藪入り」という言葉を知っておりますでしょうか？藪入りというのは江戸時代に始まったそうで、落語の話でも藪入りの題材が多くあります。藪入りの日になると、主人は奉公人たちにお仕着せの着物や履物を与え、小遣いを与え、更に手土産を持たせて実家へと送り出したそうです。実家では両親が待っております、親子水入らずで休日を楽しんだそうです。また、遠方から出てきた者や成人した者には実家へ帰ることができない者も多く、彼らは芝居見物や買い物などをして休日を楽しんだそうです。

因みにお盆は日本で夏季に行われる祖先の霊を祀る一連の行事で、かつては太陰暦の7月



長田和徳会長

15日を中心とした期間に行われていたのですが、明治期の太陽暦の採用後、新暦7月15日に合わせると、農繁期と重なって支障が出る地域が多かった為、新暦8月15日をお盆とする地域が大半になったそうです。

第二次世界大戦後、労働基準法の強化などにより労働スタイルが変化し、日曜日を休日とするようになると藪入りは廃れ、正月休み・盆休みに統合されるようになりまして、藪入りの伝統は正月や盆の帰省として名残を残しております。考えてみれば、国民の休日でもない8月に長期連休を取る習慣は、他の国から見れば不思議な現象に見えるのかもしれませんが。

本当に暑い日が続いておりますけれども、8月は会員増強月間です。この機会に地区会員増強委員会の石井委員長と竹内副委員長にお越しいただきまして、お話をさせていただきます。よろしくお願い致します。本年度の会長方針に掲げました通り、将来の課題の1つとして、今から早急に対策が必要となるのが会員増強であると思います。何度も言いますが、現在の当クラブの会員数は60名ということで、崖っぷちの状態です。ここで60名を割るかどうかで碧南RCの組織がかなり大きく変わってくると思います。会員増強委員長も頑張っておりますけれども、会員の皆さんも広い視野で仲間となる会員の方のご推薦をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

どうぞ本日もよろしくお願い致します。

## 幹 事 報 告

幹事報告を申し上げます。

- ・ 地区社会奉仕委員会より「2021-2022 年度社会奉仕活動実績報告書 CD-ROM」が届いております。
- ・ 半田RC、岡崎RCより2022-2023年度クラブ事業計画書が届いております。
- ・ 8月17日（水）は定款第7条第1節（d）（1）による休会になります。
- ・ 次回の例会は8月24日（水）の高浜RCと合同でのガバナー公式訪問になりますので、よろしくお願い致します。
- ・ 本日の例会終了後に理事会を開催致しますので、当該者におかれましては、ご出席をお願い申し上げます。



清澤聡之幹事

## 委 員 会 報 告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 60 名（内出席免除者 13 名の内出席者 12 名）出席者 49 名	
出席対象者 49 / 59 名	出席率 83.05%
欠席者 11 名（病欠者 1 名）	

## <ニコボックス>

石井 弘子様 昨年は、地区大会のPRでおじゃましましたが、今回は女性の集いのPRです。よろしくお願いいたします。

竹内 淑江様 本日は、リアル竹内で卓話させていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

### 22-23年度地区大会実行委員会様

地区大会への登録をよろしくお願い致します。

長田 和徳君 } 2022-23地区大会副委員長 堀田康茂様、同じく実行委員 角野濱照  
平松 則行君 } 様、2022-23国際ロータリー第2760地区会員増強委員長 石井弘  
清澤 聡之君 } 子様、同じく会員増強副委員長 竹内淑江様、本日はよくお越し下さいまし  
た。よろしくお願いいたします。

木村 徳雄君 良い事がありました。木村家に初孫が誕生しました。男の子が誕生しました。感謝。

伊藤 正幸君 石井地区会員増強委員長、そして竹内副委員長の御来碧ありがとうございます。

岡本 明弘君 地区会員増強委員会石井委員長、竹内副委員長のご来碧を歓迎致します。2年ぶり！今回は対面で！竹内さんにお会いできました。

服部 弘史君 本日の卓話の講師をご紹介させていただきます。

縦山 朋久君 本日、誕生日につき、還暦を迎えました。先週は大きなお花をいただき、ありがとうございました。

## クラブフォーラム

### 『DEI』！会員増強、今新たな時代！

地区会員増強委員会 副委員長 竹内淑江様



竹内淑江様

皆様、改めまして、こんにちは。

初めまして、ではなくお久しぶりでございます。2年前のコロナ禍、Zoomのオンライン卓話でお邪魔致しました。名古屋城北RCより出向しております「竹内淑江」でございます。本日は地区会員増強委員会より石井弘子委員長も同行させていただきます。後程、皆様にご挨拶させていただきます。2年前、この次はリアルで碧南RCの皆様にお会いできる事があれば、またよろしくお願いいたしますと思いましたが、遂にリアルでの訪問となりました。今年度も地区会員増強委員会にお声掛け頂きまして、ありがとうございます。本日は『「DEI」！会員増強、今新たな時代』というテーマにてお話しさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

今年度、RIそして地区が推進しております「DEI」について先ずはお話しさせて頂きたいと思っております。皆様におかれましては、既にこのDEIという言葉はロータリー以外の所でお耳にされている方もお見えになられると思っております。

・D ⇒ Diversity 多様性（職業・性別・国籍・人種等）

・E ⇒ Equity 公平さ (公平な扱い・機会の均等)

・I ⇒ Inclusion 開放性(包括・仲間になる)

ロータリーの定義として DEI は次のように定めております。

一般的にはダイバーシティー「多様性」の中には職業・性別・性的指向・ジェンダー自認・民族・人種・肌の色・婚姻状況・考え・価値観等これらすべてのことが含まれてまいります。ではロータリーで言うダイバーシティーとはもう少し深く考えてみましょう。例えば奉仕事業の考え方も様々であります。クラブ内だけの奉仕事業、地区内に一步でてみての奉仕事業、更には大きく手を広げてみて国際的な奉仕事業、奉仕事業の中にも色々な考え方があると思います。

ではロータリーの学び方はどうでしょうか。学び方の形にも色々な形がございます。書物からロータリーを学ぶ方法、WEB から、マイロータリーなどを活用してロータリーを学ぶ方法、実践からロータリーを学ぶ方法。またロータリーに注ぐ時間につきましてもすべての時間をロータリーに注ぐことが出来る人、例会に参加するだけが精一杯だ。という方もお見えだと思えます。これらは全て一人ずつ違って当たり前なのではないでしょうか。これがロータリーにおいての多様性なのかなと思います。考え方や方法は違っても、ロータリーに対する根底は、奉仕の思い、そして高潔性を重んじる事。ここに関しましては、すべてのロータリアンの思いは一つのはずです。こういったことがロータリーの多様性なのではないかと私は思います。

次に Equity (イクイティ) とは公平さ (公平な扱い・機会の均等)。よく似た言葉で Equality (イクオリティ) 平等という言葉がございます。皆さんはこの公平と平等の違いを理解されておりますでしょうか。「イクイティとイクオリティ」「公平と平等」の違いをこちらのイラストで説明させていただきます。平等とはイラストで分かりますように野球観戦を塀越しにする 3 人がおります。彼等には野球観戦しやすいように 3 人に同じ踏台が渡されました。同じ条件の踏台です。これが平等という意味です。右側のイラストをご覧ください。右側のイラストでは踏台をそれぞれ 3 人の目線が同じ高さになるように渡されております。これが公平です。公平と平等の違いをご理解頂けましたでしょうか。

ではロータリーで言うイクイティ「公平」とは全てのメンバーの意見を大切に、各個人にあった役割を考える。全てのメンバーが、自分自身が役に立っているという思いを感じられること。またクラブ内での情報はすべてのメンバーが共有できることが必要。誰もがクラブを楽しんでいること。楽しいクラブ=満足度も UP します。全てのメンバーがそう思えることが、ロータリーで言う公平さなのではないかと思えます。

それでは DEI の最後、Inclusion (インクルージョン) です。開放性 (包括・仲間になる) という意味です。ロータリーでのインクルージョンはクラブの中に多様性のあるメンバーが集まっているだけではなく、それらが一つになることが Inclusion (インクルージョン) なクラブと言えるのではないのでしょうか。年代・性別・考え方がそれぞれ違うメンバーが一つになる Inclusive(インクルーシブ)になるクラブ。開放性とチャレンジ力を高めることが Inclusion (インクルージョン) と考えていくことがロータリーで言う Inclusion (インクルージョン) の意味ととらえます。

これらの DEI の考え方は東京広尾 RC の服部陽子パストガバナーが YouTube でお話しになられていたことの中から私は学びました。本日、碧南 RC の皆様とロータリーの DEI について少しでも共有することが出来たら良いな～という思いでお邪魔させて頂きました。そしてこの DEI が新たな時代の会員増強へも繋がっていく方向性と考えております。DEI について私なりに皆様にご説明させて頂きました。

では DEI を推進しながら会員増強の方法を考えていきたいと思えます。2022 年の最新情報の前にこれまでの新しい会員増強の方法につきまして確認をさせて頂きます。例会のありかたを柔軟に変えることが出来るという点につきまして、2016 年の規定審議会での決定でした。例会の回数、また出席に関する規定等はそれぞれのクラブの細則に盛り込んで決定することが出来ます。祝日のある週は例会を休日にすることも可能です。私共名古屋城北 RC ではこの方法を既に取り入れております。またこれまで主に e クラブの例会方法と思われておりました一つで HP 上や WEB 上での例会開催も可能です。2 年前に私が碧南 RC 様の例会に Zoom で卓話をさせて頂いたことがございました。いわゆるハイブリッド形式のいわゆる WEB 例会であったと思えます。私共名古屋城北 RC ではコロナ禍とは関係なく、今年の年間クラブ計画書を見ますと年に 2 回の Zoom 例会の予定が組み込まれておりました。

新しい会員の種類につきましてはここ数年に渡り地区会員増強委員会よりも発信をかなりさせて頂いております。この新しい会員の種類を作る方法につきましても 2016 年の規定審議会で決定されました点でございます。碧南 RC 様では何か新しい会員の種類を作られていませんか。ここに表記させて頂きましたネーミングは例として挙げさせて頂いておりますが、例えば「家族会員」「法人会員」「準会員」「友好会員」「功労会員」等。実際に 2760 地区 84 クラブの中でも「法人会員」として新たな会員の種類を設けられているクラブもございます。それぞれのネーミングやその内容につきましては各クラブで自由に考えることが出来ます。それらは全てクラブの細則で定めるという事になっております。

衛星クラブにつきましても会員増強の一つの方法として考えてみて下さい。様々な問題点もあるかとは思いますが、元々は新クラブ結成に必要な人数が集まらないという所からのオプション的な考えとして導入されたものであります。では何がオプション的かと申しますと、衛星クラブは 8 名から結成可能です。衛星クラブにはスポンサークラブと致しましていわゆる親クラブが必要です。(クラブの中のクラブとして考えてみて下さい。) 衛星クラブは独自の例会方法や会費の設定をすることも可能です。衛星クラブの会員数はスポンサークラブの親クラブの会員数としてカウントされます。1 クラブとしてのカウントはされません。

これまでの新しい会員増強方法としての最後はローターアクトクラブの変容についてでございます。2019 年の規定審議会でもローターアクトクラブが大きく変容致しました。年齢規定の撤廃。ロータリークラブへの入会が可能。地区会員として地区会員数にはカウントされませんが、提唱するロータリークラブの会員数としてカウントはされません。ローターアクトクラブとロータリークラブとの明確な区分が薄れてきた点がとても大きな変容ではありますが、反面、将来のロータリアンへの支援と考えた場合、ローターアクトクラブの会員数の増強はロータリアンの会員増強と深く深く結びついたのでないかと思われまます。

ここまでの、これまでの新しい会員増強の方法についての内容でございます。昨年、地区会

員増強委員会より長尾副委員長が碧南 RC さんへお邪魔させて頂きました際に、このあたりの内容につきましては詳細にご説明させて頂いたと思います。

それではここで 2022 年の最新情報と致しまして、規定審議会の内容の中より会員増強の新たな方法として加わっていく点につきましてお話しさせていただきます。2022 年の規定審議会より、

- ・各クラブとローターアクトクラブは、多様性、公平さインクルージョン (DEI) を推進するようなバランスの取れた会員基盤を構築するよう努めるものとする
- ・会員が事業場または住居を所属クラブの所在地域内もしくはその周辺地域に有する要件を撤廃する
- ・会員は、どのクラブに対してでも新会員を推薦することができる
- ・複数の異なるロータリークラブが存在できる地域において従来と異なる衛星クラブを設けることにより、新たな成長の機会が生まれる
- ・事務総長への各クラブ出席報告の提出義務を削除する(メイクアップと出席義務の削除)

例会出席の義務やメイクアップはどうなってしまうのかと言う事ではございますが、これらは全て各クラブの細則において決定させて下さいという事でございます。相当な柔軟性が求められてくるというわけです。出席規定は各クラブで決めることが出来、出席率も各クラブ次第。但し、ガバナーが望めば各クラブに報告を求めることもできるということです。ここまでが新たに加わった点となります。

DEI 推進と 2022 年規定審議会で更に新たになりました点をふまえての今後の会員増強を考えた場合、各クラブからの質問の中でも女性会員をどのように増強させれば良いのかという相談を受けることが最近をよくあります。私達地区会員増強委員会は現在 11 名のメンバーで構成され、その内 5 名が女性です。その 5 名の女性メンバーたちがどのような観点からロータリーを感じているか。どのような立場からそれらを考えることが出来るのか。いつも自分たちの事を振り返りながら地区会員増強委員会のメンバーは考えております。私たちはロータリーに入会してそのクラブで歓迎されていると思えることが重要なポイントなのではないでしょうか。メンバーは歓迎していると思う事より新会員本人が先ずは歓迎されていると思えることが必要なのではないでしょうか。これは女性会員に限った訳ではありません。またいつも他のメンバーと情報が共有出来ているか、新会員を独りぼっちにしていないか。女性メンバーとの関わり方がよくわからない。どうやったら女性メンバーが増えるか等。2760 地区におきましてはまだまだ女性メンバーの増強につきましては未開発な部分が多くございます。世界では女性会員が約 25%、2760 地区ではわずか 5.9%にとどまっております。

先日の地区会員増強セミナーにおきまして前年度活発な会員増強をされ、地区内で優秀な増加率を収められました、稲沢 RC さんに事例発表をして頂きました。その際にユニークな事例をお聞かせいただきました。子連れ出席の承認！です。女性会員より出産&育児の為、長期欠席及び委員長辞退の申し出があり、理事会にて委員長交代と長期欠席を認められることとなりました。また産後暫くして、子連れ出席の相談をクラブが受け、理事会で話し合わせ、その後会員へ理解を求められ承認へと進まれたわけです。今回は迅速に決める必要があった為、スムーズな決断をされたそうです。会員を継続してもらうためにその都度、柔軟な対応を

してきたが、今後はルールの整備がまだまだ必要と考えるそうです。この事例はまさに現在の DEI 推進そのものだと私は思います。

その他にも、女性会員の勧誘に必要なことは何ですか？などの質問もよく受けます。具体的に例を挙げて考えてみますと、何と言いましても女性の育児、家事に取られる時間は大変多くございますので、一旦クラブに入会致しましてもクラブ内での委員会活動が活発に出来ない、クラブ内での委員長などのお役には就けない等、実に様々な問題が出てくる訳です。ならば委員会、サークル等に女性が興味を引くものを作ってしまうのも一つの手法なのではないでしょうか。そして「このロータリークラブにこんなに多様性に富んだ考え方があり、すべてに公平さを感じさせ、それを会員すべてが同じ根底から活発な事業活動をしている」と思ってもらえる事が会員増強の一つのポイントではないかと私は考えます。

本日、最後は女性会員の増強という点のお話で終わりになりますが、今まさに日本のロータリー、2760 地区のロータリーの会員増強のターゲットはいかに女性会員を増やすのかが鍵となっております。今、DEI 推進をしながら新たな会員増強の方法を大いに活用して頂きまして、多様性に富み公平さを考慮し、それらを包括させたインクルーシブなクラブで会員増強と退会防止に努めて頂きますよう宜しくお願い致します。

ご清聴ありがとうございました。

## 次回例会案内

令和4年8月31日（水）17：30～  
卓話 安城芸妓文化振興会 笑美寿会